

窓口支援事例 【静岡県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社 ソーテック浜松			
所在地	静岡県磐田市飛平松 1-18		
ホームページ URL	http://sotec-h.com		
設立年	2008年	業種	製造業
従業員数	8人	資本金	800万円

企業概要

当社は丸鋸・帯鋸やそれらの関連機械の開発・設計・製造・販売及び保守・技術指導（外国含む）を行っています。社長は大手鋸メーカーの開発を40年間担当し、その製品は欧米各国に輸出され好評を得ました。その技術を生かして当社を設立し、5年間で年商1億円を超えるビジネスに成長しました。これからもお客様のニーズに合った機械の製造を行い、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



自社の強み

当社は、金属・木材・プラスチック・ドライアイス・石材・冷凍食品（肉・マグロ）等の幅広い切断鋸や帯鋸・丸鋸の腰入の技術ノウハウを有しているのが強みです。特に丸鋸の腰入は、大変難しく、技能者不足で困っているのが現状です。これを解決すべく開発したのが、写真の特許登録の丸鋸ロール腰入機です。これにより、だれでも簡単かつ均等に腰入可能となり、品質向上にも大きく貢献しています。腰入で満足できないお客様はぜひご相談ください。



一押し商品

今回開発した揺動式帯鋸（ようどうしきおびのこ）切断機は、マンガン特殊鋼、チタン合金、マグネシウム合金など近年、航空機、高速鉄道、高速船舶等に用いられる高強度材料の切断に用いることができる装置です。従来の市販装置では、切断できない又は1～2回で切断できなくなるため鋼材各社は切断加工に困難を極めていました。この揺動式帯鋸切断機では、従来装置では3時間かかる切断時間が35～40分に、2回の切断回数が4～6回可能です。近々発売予定ですのでぜひご期待ください。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社とは、大変性能の良い金属切断用丸鋸ができたので特許権利化したいとお話を伺ったのが窓口活用のきっかけです。

最初の相談概要

登録専門家とともに訪問し、今回開発の金属切断用丸鋸の説明を受け、一般的な電動ノコギリに丸鋸をセットして鉄製の丸棒やLアングルなどを実際に切断してもらいました。鉄でありながら、木を切るようなスムーズさで切断でき、切断面もきれいな平面で、大変良好でした。

可搬性や切れ味からみて、この技術は産業界に与える影響は大きいと思われ、特許出願は弁理士と協力してきちんとした明細書を作成し権利化するよう助言しました。

その後の相談概要

しかし、金属切断用丸鋸に関して従来から何件か先願があり、これらの先行技術を回避する必要があります。それらとの差異を見いだすべく、細かな点についてヒアリングして、どこに特徴があるかを検討した結果、いくつかの点で従来技術との差異が抽出されました。

これらの特徴が、金属切断作業においてどのように効果を発揮するのかを明細書に記載することとしました。

窓口を活用して変わったところ

独立するまでは会社の組織で特許出願していたので会社にお任せでした。同社を設立し自身の特許出願が拒絶されたことを契機に窓口を活用して特許をビジネスに活用するよう考えるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新しい特許を出すにはどうしようかと思案中、浜松商工会議所会館に知財総合支援窓口があることを知り、訪問させていただきました。親切丁寧にご指導をいただき、当社の方にも何度となく足を運んでいただきました。支援窓口は特許取得活用に非常に有益であり、悩む前にぜひ一度窓口にご相談することをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：近藤達憲）



同社社長は、鋸技術分野の第一人者であり、根っからの技術屋さんで技術の話を始めると止まりません。アイデアが豊富で、既に特許出願した打撃時の衝撃がない「ショックレスプレスハンマー」が2012年幕張メッセで行われた「日本DIY商品コンテスト」の新商品部門で「経済産業省製造産業局長賞」を受賞されました。今後も素晴らしい製品で産業界に貢献されることを期待します。

窓口支援事例 【静岡県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社 ソーテック浜松			
所在地	静岡県磐田市飛平松 1-18		
ホームページ URL	http://sotec-h.com		
設立年	2008年	業種	製造業
従業員数	8人	資本金	800万円

企業概要

当社は丸鋸・帯鋸やそれらの関連機械の開発・設計・製造・販売及び保守・技術指導（外国含む）を行っています。社長は大手鋸メーカーの開発を40年間担当し、その製品は欧米各国に輸出され好評を得ました。その技術を生かして当社を設立し、5年間で年商1億円を超えるビジネスに成長しました。これからもお客様のニーズに合った機械の製造を行い、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



自社の強み

当社は、金属・木材・プラスチック・ドライアイス・石材・冷凍食品（肉・マグロ）等の幅広い切断鋸や帯鋸・丸鋸の腰入の技術ノウハウを有しているのが強みです。特に丸鋸の腰入は、大変難しく、技能者不足で困っているのが現状です。これを解決すべく開発したのが、写真の特許登録の丸鋸ロール腰入機です。これにより、だれでも簡単かつ均等に腰入可能となり、品質向上にも大きく貢献しています。腰入で満足できないお客様はぜひご相談ください。



一押し商品

今回開発した特許・意匠登録の超硬メタルチップソー「ブレイクレス（商標出願中）」は、画期的な性能を有していますので、従来は工場にある大型の丸鋸切断機械でないと切断できなかったような金属材料を、ハンド式電動工具や押切電動工具を使用して、現場で簡単に切断可能になりました。例えば、角パイプ（3.2×100×50）、アングル（100×50）や60φの鋼材等も簡単に切断できます。このような高性能な丸鋸ですが、一般的な金属用丸鋸の価格で発売しています。



一度お試しください！

上記は一例です。当社は今までにない切れ味・高速切断を研究し、新しい鋸刃に日夜研究挑戦し、どこにもない鋸刃を開発してまいります。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社とは、大変性能の良い金属切断用丸鋸ができたので特許権利化したいとお話しを伺ったのが窓口活用のきっかけです。

最初の相談概要

登録専門家とともに訪問し、今回開発の金属切断用丸鋸の説明を受け、一般的な電動ノコギリに丸鋸をセットして鉄製の丸棒やLアングルなどを実際に切断してもらいました。鉄でありながら、木を切るようなスムーズさで切断でき、切断面もきれいな平面で、大変良好でした。

可搬性や切れ味からみて、この技術は産業界に与える影響は大きいと思われ、特許出願は弁理士と協力してきちんとした明細書を作成し権利化するよう助言しました。

その後の相談概要

しかし、金属切断用丸鋸に関して従来から何件か先願があり、これらの先行技術を回避する必要があります。それらとの差異を見いだすべく、細かな点についてヒアリングして、どこに特徴があるかを検討した結果、いくつかの点で従来技術との差異が抽出されました。

これらの特徴が、金属切断作業においてどのように効果を発揮するのかを明細書に記載することとしました。

窓口を活用して変わったところ

独立するまでは会社の組織で特許出願していたので会社にお任せでした。同社を設立し自身の特許出願が拒絶されたことを契機に窓口を活用して特許をビジネスに活用するよう考えるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新しい特許を出すにはどうしようかと思案中、浜松商工会議所会館に知財総合支援窓口があることを知り、訪問させていただきました。親切丁寧にご指導をいただき、当社の方にも何度となく足を運んでいただきました。支援窓口は特許取得活用に非常に有益であり、悩む前にぜひ一度窓口にご相談することをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：近藤達憲）



同社社長は、鋸技術分野の第一人者であり、根っからの技術屋さんで技術の話を始めると止まりません。アイデアが豊富で、既に特許出願した打撃時の衝撃がない「ショックレスプレスハンマー」が2012年幕張メッセで行われた「日本DIY商品コンテスト」の新商品部門で「経済産業省製造産業局長賞」を受賞されました。今後も素晴らしい製品で産業界に貢献されることを期待します。

窓口支援事例 【静岡県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社 ソーテック浜松			
所在地	静岡県磐田市一色 188-5		
ホームページ URL	http://sotec-h.com		
設立年	2008年	業種	製造業
従業員数	6人	資本金	800万円

企業概要

当社は丸鋸・帯鋸やそれらの関連機械の開発・設計・製造・販売及び保守・技術指導（外国含む）を行っています。社長は大手鋸メーカーの開発を40年間担当し、その製品は欧米各国に輸出され好評を得ました。その技術を生かして当社を設立し、5年間で年商1億円を超えるビジネスに成長しました。これからもお客様のニーズに合った機械の製造を行い、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



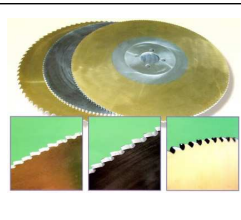
自社の強み

当社は、金属・木材・プラスチック・ドライアイス・石材・冷凍食肉（マグロ）等の幅広い切断鋸の技術ノウハウを有しているのが強みです。他社にはありません。また当社は古くなった機械のリフォームを行っています。お客様の古くなった機械を新しい機械と同等な性能にレベルアップさせることができますので、お客様の費用負担を抑えることができます。更に当社はお客様からの相談を受けてお客様のご要望に最適な製品・部品を提供いたしますので、既製品では満足できないお客様はぜひご相談ください。



一押し商品

今回開発した特許出願中の丸鋸は、画期的な性能を有していますので、従来は工場に戻って大型の丸鋸切断機械でないと切断できなかったような金属材料を、ハンド式電動工具や押切電動工具を使用して、現場で簡単に切断可能になりました。例えば、角パイプ（3.2×100×50）、アングル（100×50）や60φの鋼材等も簡単に切断できます。このような高性能な丸鋸ですが、一般的な金属用丸鋸の価格で本年夏頃発売の予定です。一度お試し下さい！



上記は一例です。当社は今までにない切れ味・高速切断を研究し、新しい鋸刃に日夜研究挑戦し、どこにもない鋸刃を開発してまいります。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社とは、大変性能の良い金属切断用丸鋸ができたので特許権利化したいとお話しを伺ったのが窓口活用のきっかけです。

最初の相談概要

窓口登録専門家とともに訪問し、今回開発の金属切断用丸鋸の説明を受け、一般的な電動ノコギリに丸鋸をセットして鉄製の丸棒やLアングルなどを実際に切断してもらいました。鉄でありながら、木を切るようなスムーズさで切断でき、切断面もきれいな平面で、大変良かったです。

可搬性や切れ味からみて、この技術は産業界に与える影響は大きいと思われる、特許出願は弁理士と協力してきちんとした明細書を作成し権利化するよう助言しました。

その後の相談概要

しかし、金属切断用丸鋸に関して従来から何件か先願があり、これらの先行技術を回避する必要があります。それらとの差異を見いだすべく、細かな点についてヒアリングして、どこに特徴があるかを検討した結果、いくつかの点で従来技術との差異が抽出されました。

これらの特徴が、金属切断作業においてどのように効果を発揮するのかを明細書に記載することとしました。

窓口を活用して変わったところ

独立するまでは会社の組織で特許出願していたので会社にお任せでした。同社を設立し自身の特許出願が拒絶されたことを契機に窓口を活用して特許をビジネスに活用するよう考えるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

新しい特許を出すにはどうしようかと思案中、浜松商工会議所会館に知財総合支援窓口があることを知り、訪問させていただきました。親切丁寧にご指導をいただき、当社の方にも何度となく足を運んでいただきました。支援窓口は特許取得活用に非常に有益であり、悩む前にぜひ一度窓口にご相談することをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：近藤達憲）



同社社長は、鋸技術分野の第一人者であり、根っからの技術屋さんで技術の話を始めると止まりません。アイデアが豊富で、既に特許出願した打撃時の衝撃がない「ショックレスプレスハンマー」が2012年幕張メッセで行われた「日本DIY商品コンテスト」の新商品部門で「経済産業省製造産業局長賞」を受賞されました。今後も素晴らしい製品で産業界に貢献されることを期待します。